

支 部 だ よ り

中部支部

44年度は秋季研究発表会を名古屋で開くことに終結したが、今年度は中部支部の特色であるOR研究会のより活発化、その他の新しい活動と、会員相互のORへの認識の向上と、さらに親睦を図る企画を進めんとしている。

1. 会員状況

中部7県（愛知、岐阜、三重、石川、富山、静岡、長野）在住のOR学会会員数は、45年6月1日現在の調べでは、

フェロー	2名
通常会員	80名
学生会員	10名
賛助会員	16社

となっている。その後も会員は増えており、現在100名を越えていると思われる。

2. 44年度の活動

秋の研究発表会を名古屋で行なった。そのための実行委員会を支部内に設け、11月28～30日に開催した。そのレポートは「経営科学」13巻4号に、また《パネル・ディスカッション》“経営計画とコンピュータ”は14巻1号に掲載されているのでご覧いただけたと思う。

OR研究会 会員相互に啓発しあうための具体的な催しとして、OR研究会を毎月開いている。通常は会員が扱ったケース、研究の経過などの報告をし、ディスカッションをしている。44年度には9回開催し、14のテーマの報告と討論があり、毎回8～16名が集まっている。

3. 45年度の活動

中部支部の中心活動であるOR研究会に加えて、見学会、講演会なども計画され、会員相互の研修から、ORの普及活動にも手を広めようとしている。

OR研究会の開催通知は、これまでは申し込みのあった人のみに出していたが、今年度からは支部の会員全員に毎回通知している。月に1度はどの会員も支部からの手紙を受け取るという形で、支部への意識を高めんとしている。この結果毎月の研究会への参加者が20～30名と倍以上になり、幹事を喜ばせている。

7月には、ミニ・コンピュータで集計計算をし、釣銭の集中管理などを機械化した名鉄電車新名古屋駅の27台の乗車券自動販売機システムの見学をし、好評であった。

秋以降にも、通常の会合の他に、講演会、見学会などを予定している。

4. さらに……

本部、理事会などで、国際OR学会（IFORS）を1975年に日本で開催しようということが話題に上っている。中部においては、開催にまつわる庶務的雑事のお手伝いは難しいので、研究方面での参加ができるように目下検討を進めている。

研究会も出席者が増えるとともに、運営面や内容上でも新たな問題も出てこよう。また中部支部の活動が名古屋地区のみになるということで、その他の地区の会員へのサービスはどうなるかという問題もある。

運営面や研究会の内容にご意見のある方、また中部地区に住みながら支部からの連絡もれとなっている方は事務局（中産連内、TEL 052-941-9431）へお申し出下さい。（真鍋龍太郎記）

ニ ュ ー ス

企業会計情報視察団派遣のお知らせ

期間 昭和46年1月7日より2月1日まで。

視察調査事項

主テーマ

企業会計情報システムをめぐる諸問題：特にOR

やコンピュータ導入によって古い会計情報はどのように変革したか。

個別テーマ

1. 企業会計における数学的方法、ORの導入状況——古い会計情報システムと異なる点——
2. EDP 利用状況——コンピュータによる決算、